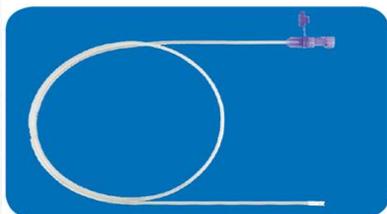


経鼻栄養チューブ 管理していますか？

経管栄養の患者さんは、栄養チューブをはじめとした物品を使用することが多いです。栄養チューブ、シリンジ、懸濁用ボトル、栄養剤によっては栄養ボトルも使用することがあります。それぞれ、患者さんにとっては食事をするときの道具です。箸やスプーン・フォークと同じです。今回は経管栄養時の必要物品の取り扱いについてご紹介します。

JMS E・D・チューブ



1. 挿入を容易にするスタイレット付
2. エックス線不透過のため、レントゲンによる留置位置の確認が可能
3. サンプチューブ・胃管チューブは減圧目的に使用するもので、経腸栄養には使用しない

管理方法

1. チューブ固定位置を確認する（日勤帯で確認）
（例：45cm固定）
2. 鼻孔部固定テープ交換：**1日1回**行う（日勤帯で行う）
3. チューブの交換：**2週間に1回**行う（主治医へ交換を依頼）



閉塞予防方法

1. 投与終了後に**毎回20～30mlの微温湯**でチューブをフラッシングする
2. 通常は8Fr、粘度が高い栄養剤を投与する場合には10Frを選択する
成分栄養剤、半消化態栄養剤：8～10Fr
高濃度、高脂肪含有、食物繊維の多い栄養剤：10～12Fr

必要物品の取り扱い方法： 洗浄して使用するもの

- ①栄養ボトル
- ②シリンジ
- ③ラコール半固形剤変換コネクタ
- ④懸濁ボトル



中性洗剤で洗浄⇒消毒⇒乾燥⇒再利用

1週間使用したら廃棄して
新しいものと交換する

TOPIC

胃瘻用のチューブには種類があるの？

- ◆ ボタン型には2種類の投与用チューブがあります。
- ・持続投与用チューブ（L型）
先端がL字型で体に沿うような設計になっています。
- ・間欠投与用チューブ（ストレート型）
半固形栄養剤を短時間で投与する場合に使用します。



用途に合わせて
使い分けましょう

【編集後記】

経管栄養の必要物品について紹介しました。正しく、清潔に扱うことが重要です。

NST委員会 芳末(4C)、井上(3C)、伊藤(栄養管理室)